

住宅とルーフィング

Vol. 20

P

第 20 号のポイント

1. ルーフィングの厚みはたった 0.5mm、重さも 5.2kg/m²。
2. 屋根が軽いと地震時の住宅への負担が大幅に軽減される。
3. ルーフィングは瓦の谷付近に固定ビスを取り付ける！

?

筆者プロフィール

金井田晃央 (かないだあきお)
 1975 年 群馬県生まれ
 日本大学大学院 (建築・構造) を卒業後、スウェーデンへ渡る。
 スウェーデンで住宅・建材の輸出マネージャーを 10 年間務める。
 河本工業の次世代型住宅である “Komoto Hus” (河本ヒュース) の開発メンバーに携わる一人。
 スウェーデン住宅・建材・家具等の輸入手配を主に担当している。
 筆者ホームページ:
<http://mala-gruppen.com>



瓦形状のガルバリウム鋼板製ルーフィング。丈夫で軽く、地震に強い。

Hejsan！今回はスウェーデンのルーフィングについてお話しします。伝統的なものといえば、淡いレンガ色の素焼き瓦ですが、もう一つ代表的なものが、瓦形状をしたガルバリウム鋼板製のルーフィングです。

鉄鉱石の産地でもあるスウェーデンでは、古くから鉄製品が多く、それに伴って、鉄が錆びないように保護する技術も発達してきました。素材の鉄を多層コーティングした現在の技術では、汚染物質の多い工業地帯でも使える程で、本国におけるルーフィングの保証はなんと 40 年！耐用年数はもっと長いわけです。

瓦形状の見た目の高さは 52mm と、厚みを感じるものの、ルーフィング自体の厚みはたった 0.5mm！重さも 5.2kg/m² と抜群に軽いのです。屋根が軽いことは、地震時の住宅への負荷が大幅に軽減されますので、軽量で瓦型のデザイン・・・と日本では理想的なルーフィングといえます。寒冷地においても、凍結によって素材が劣化する恐れがないため、瓦型のデザインとして採用できます。

丈夫で軽く、地震に強いルーフィングですが、素材が「鉄」なので温度変化による膨張収縮が起こります。そのため、施工時には、瓦の谷付近に固定ビスを取り付けます。瓦の山に取り付けてしまうと鉄が膨張する際に逃げ場がなくなり、ビス周囲で強い上下運動が繰り返され、雨漏りの原因となってしまいますからです。専用ビスで正しく止めれば、谷付近でも雨漏りすることはありません。正しく施工してあれば、素材の特性を最大限に活かすことができるのです。色はレンガ色の他に、ブラック、グレー、レッドがあります。次回は、スウェーデンの雨樋をご紹介します。お楽しみに！

文責 金井田晃央 (筆者へのお問い合わせ先: info@mala-gruppen.com)

Innovatio : イノベーションとは、これまでのもの、仕組みなどに対して、
 全く新しい考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起すこと。